

小瀬戸橋 個別補修計画



令和4年度版

架橋箇所

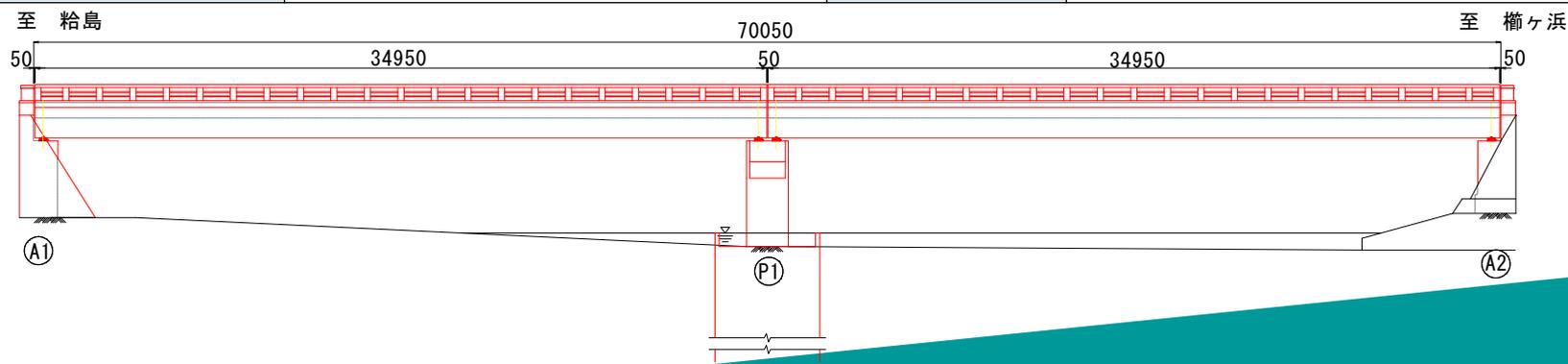


周南市大字粕島

(緯度33.98047, 経度131.76985)

■ 橋梁諸元

管理事務所	周南土木建築事務所	橋種	コンクリート橋
路線名	一般県道 給島櫛ヶ浜停車場線	径間	2径間
橋長	70.0m	上部工式	PC2径間ポステンT桁橋
幅員	6.7m (全幅員)		
架橋年	1967年 (昭和42年)	下部工式	逆T式橋台 (A1, A2) 張出式橋脚 (P1)
交差物件	徳山下松港	基礎工式	不明 (A1, A2) オープンケーソン基礎 (P1)



■計画期間

- ・ 100年

■計画の見直し

- ・ 10年以内

■維持管理方針

- ・ 「予防保全型」維持管理

■部材毎の維持管理方針

P C 上部工	予 防 保 全	支 承	予 防 保 全
下部工	予 防 保 全	落 橋 防 止	予 防 保 全
基 礎 工	事 後 保 全	伸 縮 装 置	予 防 保 全
高 欄	事 後 保 全	排 水 装 置	事 後 保 全
舗 装	予 防 保 全		

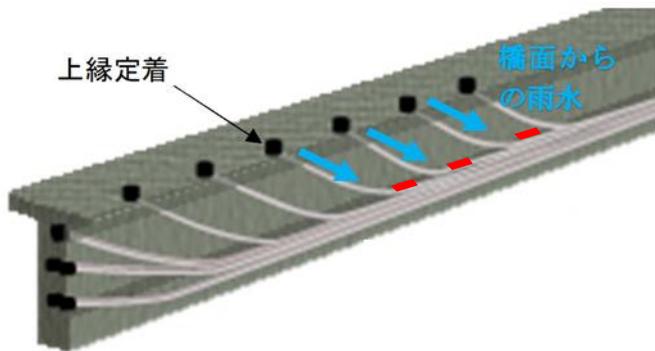
■維持管理上の留意事項

・ 海岸付近

➤ 塩害による損傷

・ P C 鋼材の上縁定着

➤ 定着部からの雨水浸入に起因する P C 鋼材の腐食



橋面からの雨水の浸入により P C T 桁に配置された P C 鋼材が腐食する。P C 鋼材が腐食した場合、曲げ耐力が低下する可能性がある。

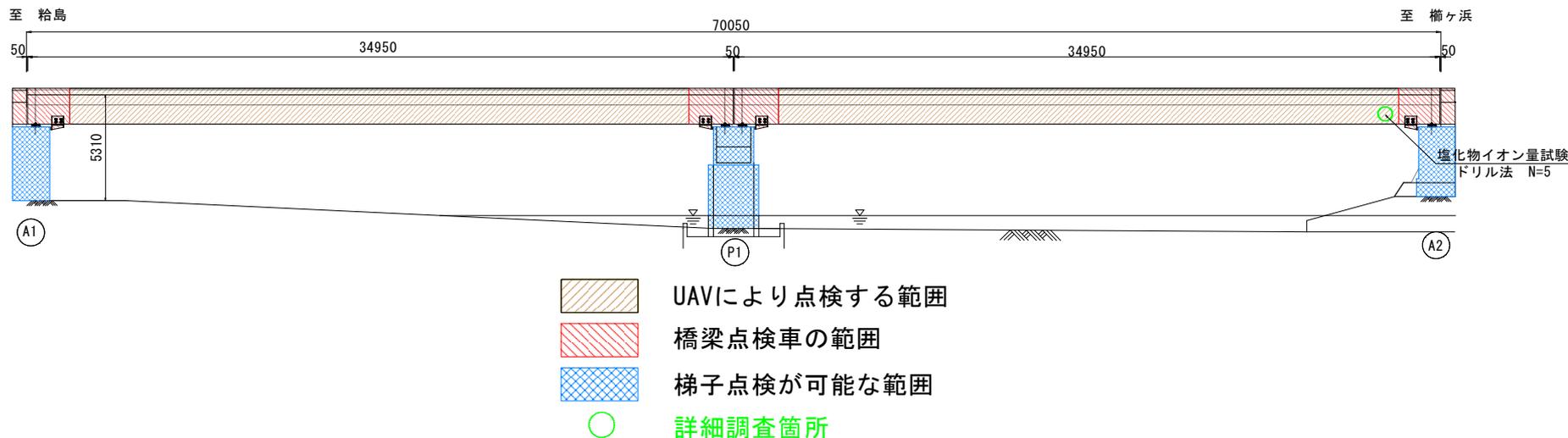
■点検計画

- ・ 山口県橋梁点検要領（案）に基づき、5年に1回の頻度で点検を実施
※地震など緊急時については適宜実施
- ・ 橋の状態を定期的に把握するため、デジタル技術を活用し、データを蓄積

■調査計画

- ・ コンクリート部材について、15年に1回の頻度で点検時に塩化物イオン量の調査を実施

■点検・調査方法



●ドローンによる全体の点検

- 上記を基本とするが、下記箇所は直接、視認等により点検を実施する
 - 容易に視認できる箇所
 - 橋座部
 - ドローンにより視認できない箇所
 - 損傷の程度等により必要と判断される箇所

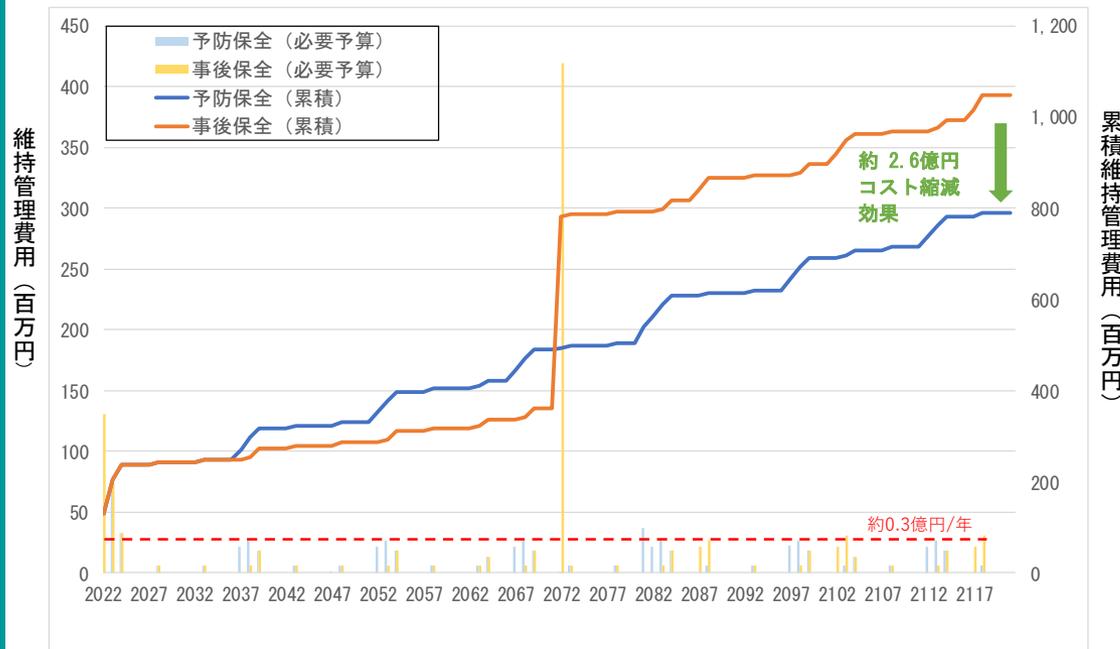
■補修方針

- ・ 2024年までに補修を完了
- ・ 2025年から予防保全型の維持管理を実施

側面図						定期 点検	詳細 調査
	橋梁形式	2径間単純PCT桁橋					
区間名	上部工	A1-P1		P1-A2			
	区間長	35.0m		35.0m			
2022年	下部工	A1		P1		A2	
	下部工	表面含浸		表面含浸			
	上部工	表面含浸・表面被覆・断面修復					
	上部工	グラウト充填					
2023年	その他	防護柵取替					
	下部工					表面含浸	
	上部工			表面含浸・表面被覆・断面修復			○
2024年	その他	橋面工			橋面工		
		伸縮装置		伸縮装置		伸縮装置	
2025年							
2026年							
2027年							
2028年							○
2029年							
2030年							
2031年							
2032年							
2033年							○
2121年							

※点検・調査結果や予算状況により変更の可能性がある

■ 予算



■ 安全

- 架橋環境（塩害地域）、構造特性に応じた確実な点検、調査

- 異状箇所の早期発見